

令和6年度 努力点研究 推進計画

研究主題

進んで関わり合い 自分らしく学ぶ児童の育成

1 基本方針

(1) これまでの研究について

本校では、「進んで学び合い、関わり合う児童の育成」を目指して研究を行ってきた。その中でも「協働的な学び」に重点を絞り、協働的な学びの姿を引き出すための手立てを講じてきた。これにより、学級の仲間と話し合ったり、意見整理をしたり、協働制作をしたりすることを通して、学び合う姿が見られるようになってきた。このような姿は「ナゴヤ学びのコンパス」における「ゆるやかな協働」に繋がる姿であり、今後も大切にしていきたい。そして、研究主題に迫っていくためには、学習のゴールや学び方、ペースを自己選択・決定していく「個別最適な学び」を充実させることが必要である。そこで、これまでの成果を踏まえ、「自分らしく学ぶ」姿を引き出すための手立てを工夫し、研究主題に迫っていききたい。

(2) 本年度の研究項目

昨年度、名古屋市が策定した「ナゴヤ学びのコンパス」の目指したい子どもの姿～ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける～を踏まえ、「進んで関わり合い 自分らしく学ぶ児童の育成」というテーマを掲げ、研究を行っていく。

「関わり合い」では、安心して学び合える環境をつくり、「聞く」「助ける」「見守る」等の関わりができるようにすることで、必要に応じて仲間の力を借りたり、人に自分の力を貸したりすることができる姿を目指す。

「自分らしく」では、学ぶペースや方法、環境等を成長・発達に応じてできるだけ児童が自己選択、自己決定できるようにすることで、自立して学ぼうとする意欲を高めることを目指す。

以上の二点を重点に、各学年で主な実践教科を決め、手立てを工夫していく。

